

新 高梁人名録



もり けん じ 氏
森 謙 治 氏
(1935~2019)

「私の原点は、有漢の豊かな自然に触れたことです。」と、生前、森先生がおっしゃっていました。先生は、種無しブドウを作り出すジベレリンという薬剤を研究開発した人としても知られています。高梁市の名産ピオーネにもこの薬剤が使用されており、ブドウ農家の皆さんにとっては、深い結びつきがあるといっても良いのではないのでしょうか。

有機合成化学の第一人者として、1995年オウム真理教による地下鉄サリン事件の際には、解説者としてテレビに出演し有機化学者の立場から解説も務められています。

先生は、10歳の時、父親の故郷の有漢に疎開し、有漢中学校を卒業されるまで有漢で過ごし、田植え、田の草取り、稲刈りを毎年経験され、農業への関心が芽生ええました。

ジベレリンの研究の原点にも、有漢で過ごした少年時代の経験が活かされています。ジベレリンは稲の病気「イネばか苗病」を引き起こすイネばか苗病菌から生み出されるホルモンであり、米作りを経験していた先生にとつては、研究を身近に感じられたと思います。

東京大学農学部へ進学し、有機合成化学の研究で博士号を取得され、母校の東京

大学の教授として学生を指導されると同時に、研究者として250以上の研究論文を発表されています。

2010年には瑞宝中綬章を受賞され、2015年には、日本学士院の会員に選出され、天皇陛下(現上皇)へ研究の進講をされました。教授時代に学生に贈られた色紙の言葉は、「思考、努力、忍耐」でした。先生の人柄がこの言葉に表されています。



人物写真提供：日本学士院

今号の表紙

高梁市立有漢学園 9年生の生徒

有漢学園は、有漢東小学校と有漢中学校が統合して今年4月に開校しました。義務教育学校の特色を生かして9年間を見通した教育活動を進めています。その中でも、「地域ぐるさと学習」「英語学習」「徹底反復学習」を3本柱として取り組んでいます。2学期には、後期課程の生徒が、地域の方に支えていただいて進めている「地域ぐるさと学習」のまとめを発表する予定です。現在、それぞれの学年がテーマに沿って学習しています。



あとがき

6月定例会は、高梁国際ホテルの現状と今後の方向性、ラ・フォーレ吹屋の営業再開に向けた今後の方針、また廃校活用など、公有財産の活用等に関連する課題について、多くの議員から質問されました。

議会基本条例では、「議会は、市民を代表する議決機関であることを常に自覚し、公正性及び透明性を重視して、市長等執行機関の市政運営状況を監視する。」とされています。

これらの課題に対して、議会と執行部がしっかりと情報共有を行い、熟議の市議会を目指し、議論を行ってまいります。

(前野洋行)

9月の定例会スケジュール

9/1	月	本会議 (議案の上程)
5	金	本会議 (一般質問)
8	月	本会議 (一般質問)
9	火	本会議 (一般質問)
11	木	本会議 (議案質疑)
12	金	委員会
16	火	委員会
17	水	(委員会予備日)
22	月	本会議 (採決)

※9月定例会への請願・陳情の締め切りは8月26日(火)までです。

※日程は変更となる場合があります。

正式な日程は決まり次第、ホームページでお知らせいたします。

政治家の寄付は禁止！ 有権者が求めることも 禁止されています！

公職選挙法により、市議会議員が選挙区内でお中元やお歳暮、ご祝儀を出すことは禁止されています。市民から求めることも禁止です。



編集

委員	委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長	森和之	議会広報公聴特別委員会
長田伸彦	川上雅美	前野洋行	藤岡善行	宮田好夫	川上博司	金尾恭士	森和之		



高梁市議会ホームページ
アクセスはこちらから